

寄付講座に生保労連役員を派遣しました

未来を担う学生に向けて講演！

生保労連では、これから社会に出る若い世代を対象に、生保産業や労働組合の役割・働くことの意義などを伝えることを目的として、連合の関連団体である教育文化協会が実施している「連合寄付講座」等へ積極的に講師を派遣しています。

1月と4月に開催した講義では、以下のテーマに沿って生保労連・各組合の取組み等について紹介したほか、生保産業・営業職員の役割や生活設計の重要性を伝えました。

開催日	テーマ	講師
2025.1.8 埼玉大学	生命保険産業における 仕事と生活の両立に向けた 労働組合としての取組み	生保労連 中央副執行委員長 堀 義行
2025.1.16 富山大学	生命保険産業における 仕事・働き方 ～より良い職場づくりに向けて～	生保労連 中央副執行委員長 山本 直子
2025.4.25 同志社大学	生命保険産業における 男女がともに働きやすい 職場づくりに向けた取組み	生保労連 中央副執行委員長 谷口 典央
2025.4.30 明治大学	生命保険産業における 労働時間の短縮に向けた取組み	生保労連 中央副執行委員長 金田 裕之



参加者の感想

- 生命保険業界が働きやすい環境づくりに取り組んでいることが分かった。
- 労働環境について、制度の整備だけではなく、働く側の意識改革も重要だということが分かった。
- 女性の管理職割合向上は重要だが、すべての女性が望むわけではないと思うので、性別を問わない環境整備が重要だと思った。